# 6、第5学年の取り組み

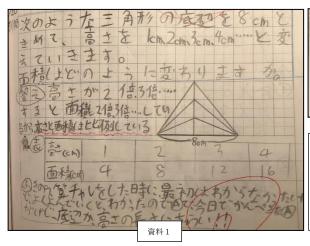
# (1) 算数チャレンジの取り組み

時 期	内 容
1 学期始め頃	・算数チャレンジの目的と方法を伝える。
(算数のオリエンテーションの時)	・宿題として算数チャレンジに取り組ませる。
1 学期の中頃	・朝の準備に、「算数チャレンジで取り組んだ教科書を机の上
	に開く」項目を入れ、取り組みを共有できるようにする。
1 学期の終わり頃	・算数チャレンジを自学で取り組む児童の姿を紹介する。
2 学期の始め頃	・算数チャレンジの目的と方法を再確認する。
2 学期の中頃	・算数チャレンジを前提とした授業展開の定着を図る。
	・習熟 (授業後半) の時間に学習活動を選択できるようにする。
	「計算ドリル、タブレットドリル、ミニ先生、オリジナル問題
	作り」
1、2学期を通して	・算数チャレンジの目的や方法に沿っている、または、それを
	生かして実践している児童の教科書やノートを紹介し、算数チ
	ャレンジの価値を適宜共有する。(家庭との共通理解)

# (2) 算数チャレンジに取り組んだ成果(◎) と今後の課題(●)

- ◎児童が学習に対する見通しをもち、自身の理解度を把握して授業に臨む姿が見られた。それにより、「この単元は得意だから、友達にたくさん説明したい」「分からない所は質問して正しく理解しよう」など、個人で設定した目標に向かい学習を進めることができた。
- ◎算数チャレンジを行ったことで、他教科(国語科、社会科、体育科など)でも予習的学習に取り組む児 童の姿が見られた。
- ●取り組み状況に個人差があることや、取り組み状況の底上げが難しいこと。
- ●アンケート結果を見ると、肯定的な評価が多数を占めている。しかし、算数科の成績の大幅な向上(特に思考・判断・表現)は見られていない。以上のように、児童の自己評価と算数の成績にズレが生じていること。

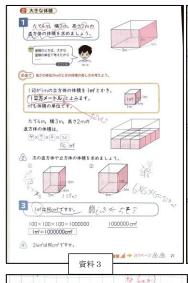
# (3) 目指す児童の姿として参考となる資料

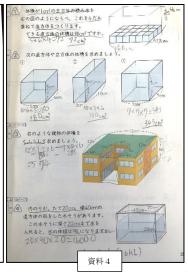


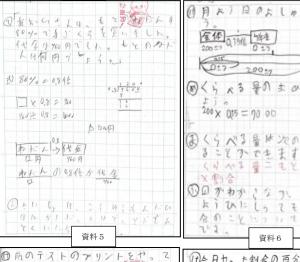
● 99角井りてき、今までに習った公式 をイ吏うと求められるから、求めち もイマハッターンかをあるから全音Bやれる ようになりたし 資料2

#### 【振り返りを書いた算数ノート】

学習を終えた段階での理解度(A、B、C)を、根拠をもとに文章で表現している。算数チャレンジで取り組んだ時からの変容や、既習事項との繋がりに関する気付きを表現する児童の姿も見られている。

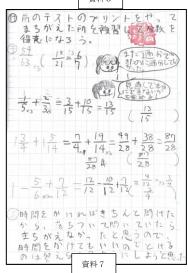


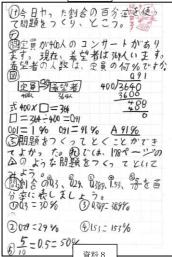






1 5





### 【算数チャレンジをした教科書】

分かっていること・聞かれていること・大切 なところ・予想などを、線を引いたり言葉で表 現したりすることができている。この段階で 理解できた体積の求め方までは問題を解き、 単位換算については予想を立てている。(資料

練習問題を教科書に解いている児童もい る。学習内容が理解出来ている児童について は、同じ問題を授業の中でより速く正確に解 くことや、発表や友達に教える活動を通して、 知識を積極的に活用することを促している。 (資料4)

# 【算数チャレンジをした自学ノート】

最初は苦手意識があった割合の問題も、パ ターンを理解することで「どんどん得意にな った」と自分の得意不得意を理解することが できた。不得意な部分を克服して学習に臨も うとする心構えが感じられる。(資料5)

分かる問題と分からない問題を、自主学習 を通して分類することができている。分から ない問題については、「授業の中で正しく理解 したい」という目標をもち、学習に臨むことが できている。(資料6)

#### 【授業の復習をした自学ノート】

授業やテストを通して、帯分数の足し算に 課題があることを実感し、それを克服するた めに自主学習で取り組む姿が見られた。時間 に限りが無い家庭学習の中で「落ち着いて解 いたらできる」ことに気付くことができた。 (資料7)

授業で習った内容を使って、オリジナル問 題を作成した自主学習。授業の中で取り組み、 問題を解き合う児童もいる。友達どうしで正 しい答えを解説する場面も見られた。問題作 成や解答作成の場面で数や言葉により丁寧に 向き合う必然性が生まれている。(資料8)





# 【授業の様子】

算数チャレンジで予習してい るため、基本問題を解き終えた 児童はランダム交流を行ってい る。交流を通して、自分の考えの 確認や修正を全体交流までに繰 り返し行うことで、知識の定着 を図っている。(資料9)

全体交流は授業の中盤までに 行うことを意識して授業設計を している。(資料10)